

東京出島塾

長崎には、愛の名所がたくさんあります。

稲佐山展望台
北高校の教室佐世保北高のげた箱
諫早高校裏の高城会館横 諫早駅前西友
屋上のゲームセンターへ行く階段 ハウステンボス
城山小学校 体育館前 松山グラウンドベンチ 北陽台高校

長崎市の南山
小学校の近く 松が枝埠頭 水辺の
森公園になる前 浜口町 日大高校4階 鍋冠
山公園 道ノ尾にある西友の屋上 長崎北高校校舎の
ベランダ 女神大橋の駐車場 出島ワープの海沿い ココウォーク

グラウンド
グラバー園
下校中の帰り道

の観覧車
酒中学校
長崎県美術館の屋上 長崎県佐世保市立広田中学校の教室 大村市駅前
長崎県美術館の屋上 長崎県佐世保市立広田中学校の教室 大村市駅前

平戸市の自宅 長大グランド近くのポロアパート

浜の町のサンマルクカフェ 浜の町賑橋近くにある中央公園の蒸気機関車 TSUTAYA駐車場 東高の裏 稲園町の県公舎 中尾城公園
浜の町のビルの屋上 ガーデンテラス長崎のチャペル 長崎東高校から長崎駅に下る路地の途中 長崎東高の大志台 長崎東高長崎大正門
から少し中に入ったところ 長崎大学 本原町道中 鍋冠山公園 鍋冠山 長崎市内のラスベガス 長崎市東高校の帰り道 長崎駅前
出島に近い銅座町のとある店舗 住吉公園 高城台小学校の近く 長崎市高丘 長崎市W高校テニスコート横のベンチ 長崎市北部
長崎南高の部室 長崎東高の廊下 長崎西高の裏門近くにある下宿201号室

眼鏡橋の真ん中 公園の橋の下 住吉
バス停 稲園灯台 ビッグNのヘルメットの下 長崎大学全学教育棟102番講義室 長崎花市場 長崎バス「白糸」バス停横の個人駐車場の
庇の下で 長崎ウエスレヤン大学の学生駐車場 西彼杵郡時津村 小島田 新大工町商店街 長崎物産販売所 新上五島町 丸尾漁港 ハウス
テンボス 新上五島町

稲佐山
上五島高校の図書室 七夜月 貝津軒 時津 佐世保北高校の教室 佐世保北高のげた箱
東大野幼稚園 園内 四ヶ町入り口近く 佐世保南高等学校 御隠地バス停近くの牛右衛門前 稲石中学校
の教室 日守幼稚園 大瀬崎灯台展望台 九州自動車道 大村湾パーキングエリア上り線 ハートマークのオブジェ 浦上駅前
浦上駅のすぐ近くの公園 稲佐山展望台 長崎東高体育館前 アムステルダム広場ツリー 稲佐山展望台

左京鼻 伊王島灯台 ワンデンホテル
サンセットマリナー アミュプラザ
校前の町の実家 大野島高原

平和公園 噴水のベンチ 西浦早中学
長与町

岡郷の船着場 長崎市田手原町 長崎水辺の森 コニード通り付近 新戸町のマンションの一室
時津町の自分
亀山社中

長崎東高等学校の階段 実家 恩家橋大瀬崎灯台
外海の夕日が綺麗な

海辺 湯ノ水温泉 壱岐市の自宅 ホテルビクトリアインの操舵室を
改装して作ったバー 長崎日大高校 家興のAコープの前
亀岡公園 大崎半島長大入り口にあるコンビニの横
の通りを行ったテニススクールの門の所
長崎大学内 長崎市万才町
大宮寺坂・天藻坂
出島

愛の始点は、
プロポーズや告白をした(あるいはされた)場所のこと。
そこは、よろこびが始まった場所であり、
新しい家族や、新しい命がはじまった場所でもあります。
世界新三大夜景を見おろす稲佐山、物語と異国情緒があふれる東山手。
日本最後の夕陽を望む大瀬崎灯台。
愛を始めるのにふさわしい場所が、長崎にはたくさんあります。
PEACEのまち長崎は、LOVE & PEACEのまち長崎へ。
あなたもここで、愛を始めてみませんか。

愛の始点
プロジェクト
The Starting Point of LOVE
PROJECT



塾長 大瀬良 亮

■ 塾長コメント ■

在京長崎人というのは、ある種「長崎トラベルアドバイザー東京ランチ(NTT とでも略します)」のようなものでして、「長崎ってどんなところなの?」「長崎のおすすめはどこ?」という質問に対してベストなご提案をするというミッションを背負っている・・・と勝手に思い込んでいます。これはひとえに地元愛がもたらす故郷への責任感と、他に負けたく無いという負けず嫌い根性がもたらす結果なのですが、とりわけ東京出島塾の塾生はこの色合いが濃く、毎回集まる度にそれぞれの情報アンテナにひっかかっている旬の情報を披露しあっていて、とても刺激的で、実りのあるものでした。

ここ数年で「軍艦島」は相当なホットスポットになりました。国内外問わず、情報最先端な人たちが、「軍艦島!」「Warship-island!」「ワンダフル!」と叫びまくっているのが在京長崎人としてはとても興味深いものです。参考までにインターネットのGoogleの検索ヒット数を調べてみると

「グラバー園」：約 47 万件

「出島」：約 93 万件

「軍艦島」：約 167 万件 ※2014 年 4 月

となっており、もはや長崎市において注目度

No.1 の観光地になってしまったといえます。

我々としても、軍艦島を推していれば間違いなく、ここに「新世界三大夜景」、路面電車、チャンポン皿うどんを組み込んでいけば、1日目のプランはある程度パーフェクトなものになっていきます。

問題は2日目、3日目の行程です。東京から「わざわざ」西の果てまで来た観光客は、せっかく訪れた九州の地をとにかく充実させたいと思っています。うかうかしていると福岡や大分(温泉)といった九州の他の地に流れてしまいます。そこで、軍艦島の次に長崎の「武器」になる場所を見つけるわけですが、塾内で調べていくと、これは間違いなく「五島列島」だということになりました。

五島列島は、世界遺産候補という話題性から来るところもあるでしょうが、そもそも、今、都会は「島」ブームなのです。日本一美しい海/プライベートビーチのような海岸線/日本人の舌に良く合う海の幸/世界遺産目前と迫った教会群などいろんな要素が追い風となり、五島列島に注目が集まっています。沖縄やハワイよりよっぽど五島の方が良かったという人が徐々に増えてきているのです。

田上市長がおっしゃっている「ソトの市民」視点で考えると、長崎の魅力が長崎市内の魅力だけで捉えていては厳しい観光客争奪戦を行く抜くことができません。長崎市を中心に、各地の魅力とセットにして「長崎観光」を楽しんでもらうことが重要です。我々は「長崎市+五島列島」の枠組みで学びを進めていきました。五島列島の魅力が広がれば、出発地としての長崎の魅力も深まっていくからです。この考え方には長崎市にもすぐに理解いただきました。この場を借りて改めて感謝申し上げます。

■ 塾の研究・活動内容 ■

五島列島について学びを深めていくために、主に長崎県五島振興局の方にお力をお借りしながら、五島市、新上五島町、小値賀町を塾生で訪れ、改めて我々も五島列島の魅力を肌で感じてきました。

また、五島市では、新上五島町役場の方々等もお呼びしてタウンミーティングを実施し、五島列島内部の動きについて情報を共有してもらいました。



(写真) 五島市で開かれたタウンミーティングの様子(9月6日)

このタウンミーティングの成果は、五島列島内のコミュニケーションがこれまであまり無く、そのきっかけづくりになったということです。全島を統括した地図さえ当時無かったと言いますから、それではなかなか不便です。また、やはり東京で騒がれている「島ブーム」や「五島への関心」については、地元の人にはあまり実感が無いようでした。PRも大阪までで、東京はまだ手が出せない。思い切り前のめりに五島列島の東京でのプロモーションをご提案させていただきました。

(それがきいたのか、2014年度から五島市東京事務所ができたみたいで、何よりです)

ミーティングでは、「長崎の夜景と五島の

星空を掛け合わせたツアーができないか」「四国のお遍路のように、教会めぐりへんろみたいなものを女子向けに作れないか」など、五島列島発のアイデアもたくさん提案され、それらの発掘につながっていったのは大きな成果となりました。他にも、昭文社「ことりっぷ」担当者が五島列島の魅力を通して我々と交流会を持ってくださったり、五島の魅力にはまってしまった HIS 新規事業部の方にマーケティング視点で講演をしてくださったりと、我々が五島列島の学びを深めながら、旅行代理店や旅行ガイド担当者に五島の魅力をお伝えすることができたのも、大変意義深いことになったと思っています。

■ 成果物「愛の始点」プロジェクト ■

五島列島だけの成果物では角もたつかと思いい、全県対象に、告白した場所、された場所、プロポーズした場所、された場所を集めて、地図に落としていく「愛の始点」企画を成果物として実施しました。普段何気なく通っている場所が、もしかしたら誰かの愛が始まった場所と知ったら、長崎の新たな観光スポットにつながるのではないかという考えのもと実施したものです。情報収集は 300 件ほど集まり、うち 160 件弱を、地図に掲載し 3 月 21 日(祝・金)の長崎新聞に掲載しました。(掲載内容は後述します) 去年の「長崎未来新聞」企画に続くこともあり、読者の皆様からは、去年の評判もふまえてお褒めの言葉をいただくなど、好評でした。

他自治体の人に聞いても、この塾制度は大変素晴らしいものだし、意味があるものだと評価されます。是非今後も、いろんな塾が生まれ、学ぶだけでなく、外に長崎の魅力発信につながる制度として活用されればと願っています。2年間ありがとうございました。

東京出島塾 活動記録

日 時	場 所	内 容
平成 25 年		
5 月 29 日(水)	長崎市 東京事務所	長崎市長との意見交換会
6 月 29 日(土)	コンベンションルーム AP 秋葉原	池島にまつわる映画上映会
7 月 27 日(土)	小値賀島/野崎島	小値賀島 視察① アイランドツーリズム体験
28 日(日)	同上	〃 視察② ツーリズム体験、古民家宿泊
29 日(月)	同上	〃 視察③ ツーリズム体験、移動等
8 月 22 日(木)	Avex 本社 会議室	五島列島塾生内ヒアリング
9 月 6 日(金)	五島市/新上五島町	五島市 視察① タウンミーティング開催
9 月 7 日(土)	同上	五島市/新上五島町 視察② 移住者取材
9 月 8 日(日)	同上	新上五島 視察③ ツーリズム体験
11 月 11 日(月)	電通本社 会議室	五島市で滞在型宿泊を実施する濱口氏の講演
11 月 24 日(月)	H. I. S. 本社 会議室	五島列島とハウステンボスについて H. I. S. 講演
11 月 28 日(木)	電通本社 会議室	県庁 五島振興局とのタウンミーティング開催
12 月 12 日(木)	馬喰町「フクモリ」	昭文社「ことりっぷ」担当者との懇談会
ほか	(インターネット上)	ほか、随時 Facebook を通して活動を実施。
平成 26 年		
2 月 11 日 (祝・火)	恵比寿「ライオンのいるサーカス」	愛の始点プロジェクトの企画会議
ほか	(インターネット上)	ほか、随時 Facebook を通して活動を実施。
3 月 21 日 (祝・金)	ベルナード観光通り	長崎伝習所まつり 調査内容パネルの展示、クイズなどを実施

東京出島塾 2013-2014

東京出島塾生は、先述の通り「長崎トラベルアドバイザー東京ランチ(NTT)」としての責務を果たすべく、常に都会人たちの興味関心を見張り、長崎のどこをおすすめすべきなのかについて情報収集をしています。昨年は長崎について広く学ぶことに専念し、今年はその学びを活かして「実際に長崎にもっとたくさんの人が訪れるようになるには」と具体的に考えていくことに目を向けました。

これも前述しましたが、都会人目線で言うと、長崎市も、佐世保市も関係無く「長崎」と認識しています。長崎市を中心に県内のあらゆる魅力あるスポットを紹介することで、2泊3日あるいはそれ以上の日数を長崎で滞在してもらうことを目指さなければならないと感じていました。

我々は本年度「長崎市+五島列島」に目をつけ、五島列島について学びながら、実際に魅力ある長崎観光を生み出す「提案」にまでつながる活動を行っていきました。以下、活動内容です。

6月29日「池島譚歌」上映会



五島列島の勉強の前に「池島」の相談が東京出島塾に舞い込んできました。島ブームと

いうところで、軍艦島と同様、炭坑の島として栄えた池島を舞台にした映画を、東京出身の方が監督として制作したというので興味を持ち、映画鑑賞+トークセッションのイベントを開催しました。

東京目線からみた池島の魅力、エキストラとして参加してくれた長崎人の温かさなどを語っていただき、30名近く集まった元・長崎県民が地元の懐かしい光景に触れることができました。五島とは関係無いものの、在京長崎人の皆さんに、長崎への郷愁を深めてもらうことも、我々のひとつの役目ではないかと感じています。



(写真) トークセッションの様子

7月27日～29日 小値賀島視察ツアー

東京で耳にする長崎注目の地は、先述の通り「軍艦島」ですが、コアな国内旅行者は「小値賀島」のこともよく知っています。恐らく、長崎県内での知名度よりも小値賀島は都会で有名です。様々な雑誌で紹介され、注目を集める「小値賀島」に塾のメンバーを中心に6名で視察に訪れました。なぜ都会人は小値賀島に魅了されるのか。なぜ小値賀島は五島列島の先、中通島(上五島)とは目と鼻の先にありながら「五島列島」に含まれないことが

あるのか。

金曜日の夜まで働いて最終便で福岡空港へ向かい、博多港からフェリーに乗って小値賀島に到着するのが朝の4時半。ターミナルの休憩室で休んで観光協会がオープンするのを待ちます。

小値賀島の観光は、自分たちでレンタカーを借りたりする必要がありません。到着したところから出発まで全てを「おちかアイランドツーリズム」がコーディネートしてくれる仕組みになっていて、事前にメールを通じて、2泊3日の旅をしっかりスケジュールリングしてくれるのです。



(写真) 野崎島にある野首天主堂



(写真) 1日目、民泊の夜



(写真) 古民家「鮑集(ほうしゅう)」。昔から小値賀島は鮑が盛んに取れた場所とのこと



(写真) 民泊のご家族、活版印刷業を営む桃子さん、おちかアイランドツーリズムの事務局長など、小値賀島でお会いした方々が勢揃いにてお見送りしてくれた

小値賀島ツアー。たった3日間いた島を去るのがここまで寂しくて辛いとは思ってもおらず、なかには大粒の涙が止まらない参加者がいるほどでした。3日間ずっと島の誰かと居れるので、もはや「3日移住」とでも言えるような体験ができるのです。人の温もりを感じることができる。飯が美味しい。家が清潔(余談ですが、民泊施設となっている家には

お風呂やトイレの水回りの改築について町が費用負担してくれる助成制度があるそうです。都会人にとって田舎の怖いところが水回りです。歴史が豊か（島内の博物館で、小値賀が豊かすぎるばかり、平戸藩が手放さなかったことから五島列島で唯一ここだけが五島藩ではないことが、小値賀と五島列島の他の島との距離を生んでいることを学びました）。全てが5つ星レベルで用意されているのが、小値賀島の凄まじい魅力で、都会人をメロメロにさせることも充分納得がいきました。正直、長崎にこんなにレベルが高い島があったとは、と衝撃を受けたことが印象に残っています。

8月22日 五島列島塾生内ヒアリング

五島本島視察前に、東京目線での五島列島について各自ヒアリング＋共有会を開催しました。



（写真）ヒアリング会の様子

以下、内容抜粋します。

東京出島塾内での議論（8月22日）

「しま」というだけで、都会の人のツボを押す。

東京目線から：五島列島の本当の魅力って何だろう。

・雑誌等でもよく「島」特集というものを見る。

・TSUTAYAでも「島」特集が組まれてあった。

・いろんな人が島のトリコになっている。

・Yahoo!知恵袋などでも「おすすめの島」などが質問にあがっていて、「五島列島」をおすすめする人も少なくない。

・島を推すことで、長崎の魅力も増すと思う。

・アウトドア（キャンプや自然体験アクティビティ）が流行しているので島は憧れになっている

■五島列島の知名度について

・数年前に堀北真希のドラマを見て「うどん」について知っている友人がいた。

・「長崎県」だと認知している人が意外に少ない。

・五島「半島」だと思っている人もいる。

・対馬の「隣」だと思っている人もいる。

・「教会」があることを聞いたとしても、なぜ五島列島に「教会」なのか知らない。

・40～50代には「行ってみたい」という人は少なくない。とても魅力的にうつっている。

■（沖縄などと比較した）五島列島の魅力について

・五島の魅力は、普通の田舎の風景に「教会」がある違和感。

・海がプライベートビーチのようで、沖縄より全然よい

・観光地っぽくない、手つかずの自然、島暮らしが残っているところが何よりの魅力

・海のシーナリーだけではなく、透明度、遠浅等、品質も良い

・地理的に「アジアのへそ」だと思う。ア

ジアからもっと呼び込んで良いと思う。

- 低い山々が並んでいること。500m以上の山が無い。鬼岳は、まるで編集したような色。

- へとまと/ちゃんこ/オーモンデーなど奇祭が実は魅力的。

- キリスト教文化がとりあげられているが、実はそれまでは中国や韓国の文化がまじわっていたこともとても貴重な財産。(種子島鉄砲伝来を仲介した中国人は五島を拠点にしていた)

等があがりました。

9月6日～8日

五島列島 視察ツアー/H.I.S.

こうしたヒアリング内容を、五島列島に在住の方々は知らないのではないか。まずは都会から見た五島の注目度をお伝えし、そこから、上五島・下五島では何が起きているのか聞いてこよとの目的のもと、旅行代理店H.I.S.の新規事業部マネージャーの方と一緒に福江島（五島市）を訪れました。長崎県五島振興局のご協力のもと、タウンミーティングを実施したほか、五島へ移住した関東出身の方々に会いして、五島での活動状況をお伺いしました。



(写真) タウンミーティングの様子



(写真) 五島列島にUターンしてきた女性が作ったカフェ「ソトノマ」は、女性観光客に人気



(写真) 五島市半泊地区に移住して、3世帯6人の暮らしで教会を守る住人の方々と



(写真) 新上五島町に横浜から移住したご家族が経営する「くらしの学校 えん」では、関東からの小学生らを受け入れて、野外活動体験ツアーを運営している

この五島列島視察ツアーを通じての成果が大きく2つあるとすれば、1つはこのタウンミーティングが、上五島と下五島の交流のきっかけになったということです。なかなか両者の交流が無く、小値賀島に至ってはほぼ交流が無いとのこと・・・東京から見れば、1つの「列島」であるはずの五島同士で力を合わせる術が無いのが大変もったいないと住人の皆さん同士が感じ合えたことは大きな成果の1つと言えます。2つ目は、五島列島をもっと面白い場所にしようと頑張るのは、五島列島出身者ではなく、ソトから来た人たち、或いはソトの空気を吸って帰ってきた人たちであるということです。まちづくりには、「ヨソモノ、バカモノ、ワカモノ」が必要という言葉がありますが、まさに五島列島はその通りに元気になってきていると感じました。ソトとウチの力がうまく融合すれば、もっといい土地になるということを感じることができました。(ウチの人たちからもたくさんのアイデアが出て来ましたが、後述にまわすこととします)



もう1点、大変参考になる事例があります。栃木出身の女性が五島列島に惚れ込み、五島列島で「島コン」を立ち上げたいという話を聞きました(写真)。

都会の独り立ちできる独身女性を、五島列島の独身男性とマッチングする企画なのですが、この企画実施のため、東京出島塾で大変お世話になっている H.I.S さんをご紹介させていただき、実施に至っており、実際に数組のカップルが生まれているとか! どうやら五島の人(長崎の人もでしょうが)が魚をさばけるだけで、都会の女性はドキッとしてみようとか。この手法は、長崎市内でも実施できる大変参考になるプロジェクト事例といえます。

(参考 URL) <http://www.sukijapan.com/>

11月11日

五島列島半泊地区 濱口氏講演

東京出島塾の一部のメンバーにて視察をしたため、その内容を他メンバーに共有することを目的に、五島市で出会った半泊地区で体験ツアーを企画・運営する濱口氏を東京にお呼びして講演をしていただきました。五島の何が魅力か。どこが魅力か。何をすればもっと盛り上がるのか。



(写真上) 右側が濱口氏

(写真下) 受講生の様子



濱口さんが五島を訪れたのは52歳の頃だそうで、どこかに移住をすることを検討されていたそうです。全国いろんなところに行って、五島はダントツ1番！と感じたとの事。五島の何が良かったか伺うと「具体的には山の高さが違う。500メートル以下ばかり。500メートル以上の山が1個でもあると、山へ恐怖感を持つ。五島は山がスクラム組んで歓迎してくれている感じ。しまいには、海まで内海で、親しげだ」と五島列島を終始褒めちぎってくださいました。

11月24日

H.I.S. 新木氏/ハウステンボス松尾氏 講演

続いて、H.I.S. 新木氏とハウステンボス松尾氏をお呼びして、講演をしていただきました。前半にハウステンボスの経営再建の裏側に潜むマーケティング施策について赤裸々に語っていただき、後半 H.I.S.が五島列島に注目する意味について語っていただきました。



(写真) 講演して下さる新木氏



(写真) せっかく H.I.S.さんにお話を伺うので、ハウステンボスの話もしていただきました

H.I.S.が目指すは「脱・旅行業」ということ。国内旅行の限界と同時に収益の新しい部分を見つけ出し、次から次へと新しい分野に参入するとのこと。その一環として「ただの旅」だけではなく、地域活性につながる旅行の企画にも前向きに挑戦を続けておられ、先述した「島コン」もまさにその一策のようです。

この講演では、参加者にて感想を集めたので、その内容を一部ここで紹介します。

喜々津

- ・ H.I.S.さんのお客様の実際の反応をもうちょっと聞きたかった
- ・ ハウステンボスの成功と、その他の地域のプロモーションのギャップ。その他の地域への波及が広がるといいなと思った。

小畑

- ・ ハウステンボスが案外、地域自治体との協力を進めているのは良いと思ったが、長崎県内の県北、県南との連携が無いことが、目に見えたと思った。
- ・ 五島列島の「不便さ」が都会にとっての「癒し」につながっていると思った。便利になったら、魅力が減るんじゃないか。不便さの魅力を活かしていこうと思った。⇒不便さに関しては、接続時間がネック。アイドルタイムの解消が課題。⇒その間に何をするか。市内観光など。
- ・ 宗教に関しては根深そうで、長期的に見た方が良いと思った。

森

- ・ ハウステンボスが「オランダを捨てた」ことはでかいと思った。九州に来る関東、関西地域の観光客に対して、点と点をいかにつないでいくかということが大切だと思った。
- ・ HIS さんが地域貢献が高い部分に絡んでいるということが知れて良かった。行政にとっても、メディアにとっても活かせるように。

藤瀬

- ・ サークル内だけで3人長崎に行っている友達がいる。ハウステンボス、海に行く、

食等、いろんなジャンルで長崎を楽しんでいる。改めて長崎の魅力の多様なことを感じて嬉しかった。

- ・ 島コンの話聞いて、島コンの本当の目的を聞いて、楽しく思えた。
- ・ 長崎の魅力を知るだけでなく、楽しみ方にいろんな方法があるんだな、自分もいろいろと携わってみたいと思った。

岩永

- ・ ハウステンボスができる前から知っていた。当初は「あそこはつくりものだから」といっていた、当時の印象とは大きく変わっているということを知った。自分の職業柄エンターテインメントの視点からみてしまうが、地元をつなぐエンターテインメントを作り出したいという人生の目標をハウステンボスで何かできるんじゃないかと感じた。
- ・ 島コン、おもしろそう、広がってほしいな、と。五島が観光の島としてやっていけるのかということには、すこしリスクがあることを考えながらやっていかなければならない。隠れキリシタンの文化を理解しないといけない。

草野

- ・ 全ての話において、どう収益化していくかということが難しいと思う。最後の部分で、知己にどのように新しい事業を残していくか。被災地で、生まれていく新しい産業の事例等は参考になると思う。旅行で地域をつないでいる、というところから、地元で新たな産業を生み出すというところまでいけると、「脱・旅行業」だと思う。

小泉

- ・ ハウステンボスについては、行ったこと

が無いが、長崎と言えば「ハウステンボス」と言われるので、行ったことが無いことに驚かれていた。今、周りの人が「いいところだよ」と言うようになった感じがする。前は「一回行けばいいよ」という場所だった。まずは長崎の人が「良い場所だよ」と言える場所になることが大事。

- ・ 今まで家族で行く場所といえば、グラバー園だった。無料開園の日を。

大島

- ・ ハウステンボスカジノ計画が、関東の友人が知っていたことに驚いていた。
- ・ 長崎人がハウステンボスの魅力を知らないことを改善していくべきだと感じた。
- ・ 婚活プロジェクトは結構見ている。これから広がっていくと、五島も競合になっていく。日南市と比較すると、コストもそうだが、コンテンツが大事。どうやって他地域よりも魅力的であり続けるか。魅力的であることを伝えるか。

藤田

- ・ ハウステンボスが「ちょっと遊びに行く場所」に入ってきたことを感じる。それが衝撃の事実。
- ・ これまでは「修学旅行で行った」と聞いて「かわいそうな場所」だった。
- ・ 都会にきている長崎人。帰省パック。帰省しながらハウステンボスの入場券がついているといいかも。
- ・ 島コン：Iターン、Uターンの人たちと会って、島コンに参加させるだけではなく「住む」というところまで行って成功と言えると思う。家族を作るところがどこかにあるから成り立ったと思う。インターンではなく、暮らしまで感じる

こと。

狩野様（島コン主宰）

- ・ この会のストイックさに驚いた。
- ・ 地元愛の強さを感じた。
- ・ ハウステンボス行ってない。テーマパークが好きではない人というのはいっぱいいると思う。
- ・ ハウステンボスがここまで話題になっている意味が今日わかった。

H.I.S.新木様（講演者）

- ・ いろんな県人会があるが、この会ほど、あつい人たちが集まっている県人会というのは無いと思った。

11月28日

県庁五島振興局 タウンミーティング開催

塾生にて色々学んだ結果を、五島振興局長に提案しました。



(写真) 塾生と五島振興局長

以下、これまでの学びを資料にして、提案した内容です。

- ・若松に1組限定の旅館が人気。
- ・荒川温泉も4、5組くらいが泊まれるくらいでいいと思っている。
- ・合併浄化槽を持たないので、衛生面が問題。

●おすすめスポット「明星院」。

- ・仏閣・寺社写真家で有名な土門さんが、「こんな仏様の顔は見たこと無い」といっていただくらしい。
- ・100年に一度。開帳される仏様がいらっしゃる。(今年の12月に閉じてしまう。)
- ・ご利益の強い仏様は、あまりに強いと、灰汁になる。
- ・悩み事のある女性が一人でくるような場所。(住職さんが面白い、お話を聞く)
- ・遣唐使の話もあり、五島はキリスト教だけではない。

●洋上の風力発電実証中。

- ・洋上電力を水素電池にためて持っていく。
- ・奈留・久賀の間の潮流の世界的にも珍しい潮流の早さを活用した潮流発電というのも国に支援の申請している。
- ・洋上プラントを設置。そこにそれができると、200人超の雇用が生まれるほか、観光名所になるチャンス。

●子牛の産地。

- ・佐賀にっている。
 - ・子牛が絶好調。えさ代20万円、売値80万円、60万円が儲け。
 - ・50頭飼うと、えさ買って、うしにやって、育てる。という作業は2人でいっぱい。
 - ・えさをつくるのを分業することで、100頭飼える。100つくれれば、若者の産業になる。1人でも50頭飼える。
- ※肥育牛(最後まで育てると、お金が回ら

ない)

●ファミリーマートの高菜おにぎりは五島列島産。

- ・高菜だけで年間700万円あげている人も。
- ・きゅうりも、600トンくらい、きゅうりの漬け物や@京都、元気がある。伸び筋のところをのばしたいと思っている。

●送客について

- ・五島のいろんなものを売り出せば売れる。
- ・くれば、気に入ってもらえる。ジェットfoil、宿付きで1万円というのができないかといっている。
- ※ジェットfoil+宿泊ではなく、空港から長崎港というバス路線までパックにしてほしいと提案。

「それは考えたことが無かった」と驚きの様子でした。

- ・2月つばきまつりが行われる、このタイミングで五島市心のふるさと市民だけは、ジェットできて1万円。ターミナルホテル宿泊。

●五島列島全体について

- ・「アイランドキャンペーン」2014年度それぞれに1,000万円ずつ出させて、それぞれどういう風にしていくか、というのをやろうと思っている。

売り方をアドバイスしてもらおうと。閻雲にチラシを配ればいい、というものじゃないだろう。

こういう人たちには、こういうことをやるべきだというのをプレゼンしてもらって、というのを考えている。

●モニターツアーみたいなことをすぐできる。

●椿の花をフリーズドライして、椿のお茶を作ろうとしている。

by 椿茶屋 お茶づくり体験。

3月21日

■ 成果物「愛の始点」プロジェクト ■

五島列島だけの成果物では角もたつかと思
い、全県対象に、告白した場所、された場所、
プロポーズした場所、された場所を集めて、
地図に落としに行く「愛の始点」企画を成果
物として実施しました。普段何気なく通っ
ている場所が、もしかしたら誰かの愛が始ま
った場所と知ったら、長崎の新たな観光スポ
ットにつながるのではないかと、という考えの
もと実施したものです。情報収集は300件ほ
ど集まり、うち160件弱を、地図に掲載し3
月21日(祝・金)の長崎新聞に掲載しました。
昨年の「長崎未来新聞」企画に続くこともあ
り、読者の皆様からは、昨年の評判もふま
えてお褒めの言葉をいただくなど、好評で
した。五島列島も含め全県の新たな魅力発
見としてこの企画は今後も続けられればい
いのですが、塾活動も連続2年までなの
で、今年で終わりとなります。

他自治体の人に聞いても、この塾制度は大
変素晴らしいものだし、意味があるものだ
と評価されます。是非今後も、いろんな塾
が生まれ、学ぶだけでなく、外に長崎の
魅力発信につながる制度として活用され
ばと願っています。2年間ありがとうございました。

■ 企画の反応

- ・去年はハードな感じだったけど、今年
はやわらかい感じだね。Googleで見
られるというのは面白いね(田上市長)
- ・とてもすてきな企画ですね！(複数名)
- ・ラブ&ピースですか。言われてみ
るとそ

うですね！新しいです。ありそうでな
かったです。(複数名)

- ・Nagasaki とローマ字でつづると「(ア
イ)」が入っているから、長崎にはI(愛)が
あります。(複数名)
- ・ピンクの紙面がとってもかわいいです
ね！(30~40代女性)
- ・家内との出会いを思い出しました。あ
りがとう。(年配の男性)
- ・自分は1年かけて妻をくどきました。そ
れは呉だったからここには登録できなくて
残念だけど、大事な思い出です(年配の男
性)
- ・Google マップで見られるのは新しい！
すてきですね。URL アクセスしてみます
(30~40代女性)
- ・何気なく通っている道とかがすてきに
見えてきますね(40~50代女性)
- ・自分も東京に子どもがいるので、この活
動を見ていて子どものことを思い出しま
した(40~50代女性)
- ・これは何の企画なの？パッと見ただけ
じゃわからないね(年配の男性)
- ・東京にいても長崎のことを気にかけて
くれていてありがたいです。ぜひ長く続
けてほしい。(40~50代男性)
- ・自分は長崎新聞をとっているのですが、
新聞を読んだときになんだろう~と思っ
ていました。これだったんですね(複数名、
主に年配の男性)
- ・長崎新聞の企画だと思っていました！
よく見たら「出島塾」って書いてありま
すね。(年配の男性)
- ・すごく良くデザインされていますね！
誰がデザインとかはしているの??(40~
50代男性)

■ 1年間の塾を通しての主な感想

(藤田)

五島はこの活動で始めて行きましたが、一度で魅せられる島でした。食事景色は抜群。しかしながら、住んでいる人たちが魅力に気づいていないというのはここでも顕著で、もっと意見や実態を共有できる場を持てたらと思いました。独特の文化歴史がゆえに、慎重にならざるを得ない部分もあるかもしれませんが、それ含めて島の個性・魅力であり、やはり多くの人に知ってほしいなあと思います

(岩崎)

私としてはまだ何もしていないのにもう終わりかという気分です。少子高齢化の影響で長崎も過疎化が進むんじゃないかと一抹の不安があります。かつて長崎には蘭学があり、西洋医学が唯一学べると口コミが広がったのってやはり、大都会江戸や大阪だったと思います。だとすると今の長崎のスポークスマンは私たち東京出島塾のメンバーだったりするわけです。ならばこれからもっともっと長崎ファンクラブを拡張しなきゃいけない時に終わるが残念です。

(夫津木)

今回、中途半端でしたが関わったことの感想として、純粹に長崎を出ても長崎に関わることができる場所があり、嬉しかったです。それまでは関わりたいと思っていても自分一人で何をすれば良いかも分からなかったの、皆さんと一緒に考え動けたことは貴重な経験でした。小値賀島に行けたことも大きかったですね。長崎人でも知らない魅力がたくさんあり、同じ長崎ながら五島ってすごく遠いイメージがあったので、意外と簡単に行けるん

だと。予想以上の「おもてなし(というと仰々しいですが、すぐに親戚みたいに受け入れてくれる懐の深さ)」にも感動でした。それと同時に長崎にずっと住んでいると余計にその魅力に気づかないということも実感しました。完全に他県の人ではない私たち塾生だからこそ、私たちが気づけることやお伝えできることはたくさんあり、より長崎の人に伝わりやすいと思います。また、長崎からの発信力を向上できるような活動を引き続き行っていければ良いですね。

(辻川)

長崎の魅力を今回の Map に落とし込むことによって改めて感じました。単純な観光地ではなく、その土地で生きてきた私たちのストーリーが刻まれている魅力です。東京出島塾の一人ひとりが長崎の観光大使！と名乗っていいぐらいの活動をしてきたのではないのでしょうか。これからも何らかのアクションを起こし続けていきたいと思います。

改めて、五島列島の魅力を知り、五島列島のもったいないを知った1年間でした。

そして、これらの情報を長崎市の人が知れば、長崎市十五島列島という最強タッグで国内外を通じたアプローチが可能だということも確信しました。

世界遺産登録目前の今、長崎と五島で生まれるチャンスは計り知れないはずです。今後も東京一長崎でアイデアを出し合い、よりよい長崎になればと願っています。

以上

東京出島塾

塾長	大瀬良 亮				
1	松尾 智子	21	森 恭平	41	
2	藤田 佳子	22	上戸 仁平	42	
3	鳥巢 智行	23	園田 拓	43	
4	小泉 めい子	24	金澤 李紗	44	
5	桃井 謙祐	25	野口 翔	45	
6	辻川 智子	26	瀬戸 優美子	46	
7	樋口 関雄	27	竹下 理子	47	
8	小畑 聡一郎	28	藤瀬 春菜	48	
9	岩永 智	29	大島 亮	49	
10	草野 秀樹	30	西沢 芳徳	50	
11	百枝 優	31		51	
12	西村 瑞穂	32		52	
13	夫津木 美佐子	33		53	
14	喜々津 弘明	34		54	
15	岩永 宗一郎	35		55	
16	山口 明希子	36		56	
17	北川 祐也	37		57	
18	鶴野 蒔咲子	38		58	
19	永石 恵子	39		59	
20	酒井 一吉	40		事務局員	東京事務所 植田 美佐子